

大学との共創による公民館活動 ～地域の活性化をめざす交流～

福岡市 片江公民館【公立公民館】 館長 石川 節子
主事 高岸 真佐世

1. 事業名 「歴史散策部」・「土よう広場（アンビシャス広場）」

2. 事業の目的

- (1) 温故知新の精神で歴史を学び、郷土の歴史を埋没させることなく、後世に残すてがかりとする。
- (2) 大学の協力と共に創る活動「集う・学ぶ・つなぐ」を仕組むことで、(郷土) 地域に対する愛着心を醸成する。

3. 事業の実施主体 片江公民館

4. 連携・協力機関 福岡大学・片江校区自治協議会・片江アンビシャス広場

5. 実施に至る経緯

(1) 「新風土記 かたえ」について

発刊後、14年の時を経て、資料の劣化や編集機能に課題や制約があることから、発刊当時の方達に急遽、今後の対応を相談。再編纂の作業は膨大な量となるが、郷土の歴史を埋没させる事なく、記録として後世に残してほしい。併せて、新たな取材・調査の継続について要望があった。

高齢化により相談者達での作業は難儀であるが、引き継いでいける次世代育成への切実な願いを受け止めた。

- 発刊に至る経緯 -

「自分の住んでいる校区の歴史を調べる」の問いに応える資料がなく残念な思いをした。古くからの郷土・片江を知る方々の貴重な知識財産を、今、逃しては永遠に埋もれるのではとの懸念と危惧が重なった。

さらに、校区の急速な市街化が進み、町の様相も大きく変化している今のうちに、片江に残されている史跡・習俗・伝承などをまとめて記録し、新しく片江の住民になられる方々や次世代を引き継ぐ子ども達に、昔からのことがわかるようにしたいという願いもあって、片江校区郷土史研究会が発足。

2年10ヶ月を経て「新風土記かたえ」が発刊（平成15年3月）された。

先人の方々の思いをつなぐ方策として、「歴史についての学びの場」を事業に仕

組むことにした。講師の選定にあたって、福岡大学地域ネット推進室に相談。歴史学科教授を紹介いただいた。

地域の歴史、講話とフィールドワークによる歴史散策を進めたいと公民館の意向を伝えた。教授との話し合いから、段階を踏んでの郷土史編纂とすることとし、歴史散策部、1年目の年間計画を作成した。

(2) 大学生等との交流の場

「寸劇を交えたホテル観察会」の大学側からのお誘い・七隈祭（文化祭）実行委員会・大学サークル会の公民館利用等、長きにわたって、学生や大学と接する交流の機会を得てきた。そこで、大学教授や学生と一緒に企画・立案する場を土よう広場（アンビシャス広場）に設定した。

6. 事業の内容

(1) 歴史散策部

歴史を学ぶ講座を、大学院生の研究分野でのプログラムとした。あと押しする教授、そして受講生が双方向で学び合い、自分達が住む土地に関心を向けることを目指すこととした。

受講生は、史実は一面的捉えではなく、諸説ある等の意見が交換された。また、「新風土記かたえ」に掲載内容にも触れながら、比較検討される等、両者の学び合いが出来てきた。

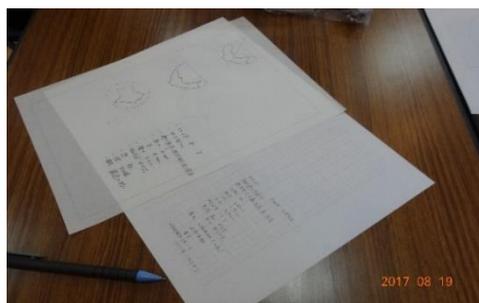
① 「油山山麓の歴史」

教授による風土記の内容と絡めての講演。明治に作成された書物に、「火薬庫」の記載。位置を得たいとの依頼があった。後日、情報確認があり、次への調査となった。



② 「発掘された瓦石の拓本をとる」

歴史を調べる方法の一つとして、実際に発掘した土器の調書の作り方、拓本の取り方を実際にすることで、歴史の奥深さを知る作業をした。



福岡城や福岡市に存在する古墳・日向峠断層など、学生が研究しているテーマをもとに、片江校区に存在する古墳の発掘調査の内容や史跡から読み取れるものを比較し、校区周辺の地形・災害の痕跡・生活の様子・食事など、校区の歴史を振り返る学習を行った。

また、体験講座として古代の装飾品であった“勾玉”石を削りだして作り、古代人の思いに触れた。

(2) 大学生等との交流の場

○土よう広場（アンビシャス広場）

対象—小学生・幼児<保護者同伴>・・・大学教授・地域指導者・校区団体
毎月地域指導者や校区団体を講師とし子どもたちが体験し学ぶ講座を開催。
大学理学部教授の科学教室。子どもだけでなく、大人も楽しむ天体観測等。



学習会 学生ボランティア



七隈祭（大学文化祭）・公民館サークル
七隈実行委員会との連携 体験コーナー

7. 事業の成果

校区の歴史を学生と共に見直すことで、自分たちが生活するまちについての学びの場が、次の世代に主体として引き継ぐ見通しができた。

共に活動できる場の提供によって、交流の輪を広げることができた。

8. 今後の課題

情報を発信し、地域に埋もれている人・もの・ことの発掘を進める。



福岡大学国際交流会館
地域住民が参加

問合せ先

福岡市片江公民館

〒814-0142 福岡市城南区片江5丁目35番20号

Tel : 092-871-1219 Fax : 092-871-5319